

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 進級説明会では資料を事前に配信し、保育方針をわかりやすく伝えるなどして、スタッフ自身も自園についてより理解を深めることができた。ハンドブックを年度初めに各自確認をしている。各クラス、保育過程がコドモンに入っている、すぐに見ることができ、月案などに反映させている。また、全クラスの月案・週案なども確認できるため、縦の繋がりを意識したり、担任以外が子どもの様子を知ったりすることができる。毎日振り返りを行い、週案に反映させていくよう努力している。毎月のクラス会議・クラス報告・昼礼ノートなどでも園児の様子を共有している。			
	【課題・対策】 保育過程は職員会議で読み合わせをし、改めて確認していく。昼礼ノートの確実な周知方法の構築。			
	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コドモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 慣らし保育については、園児の状況に応じて、時間を延ばす、早めるなど柔軟に対応している。入園面談は丁寧に行い、給食スタッフとの面談も行っている。また、必要に応じていつでも面談が行えることを保護者に伝えている。			
	【課題・対策】 給食での食事量は、個人によって異なるため一覧表を掲示し全職員に周知する。園児情報はコドモンだけでなく全職員が確認できるようにミーティングノートに挿む。旧棟・新棟によって子どもの発育の共有を徹底していく。			
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	B	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。清掃・消毒をおこない、清潔を保つようしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 日々子どもたちの発達の様子に合わせた環境作りを行っている。また、広い園庭や裏庭を最大限利用して、十分に身体を動かし、年齢にあつた運動機能の発達を促せるようにしている。安全確保のため(特に乳児)ぶつかり防止クッションを付けるなど危険がないよう環境を整えている。月齢や季節に応じて部屋のレイアウトを見直したり活動によって空間を変えたりしている。子どもの様子に合わせ適宜玩具の入れ替えや購入ができる。			
	【課題・対策】 玩具消毒・加湿器の消毒の徹底。 布団を敷くスペースが狭くなってきたので工夫していく。新棟の床は硬く冬は布団が冷たいのでござ等敷く。			
	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか	A	0~2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・児童健康台帳等、必要書類をコドモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 クラス担任だけではなく、園全体で園児一人ひとりに関わり、意見や情報交換を行うことで、偏りのない個々への対応をしている。昼礼で毎日の情報を共有している。月1回のクラス報告 特に配慮を要する子どもに対し、臨床心理士に相談し指導を受けることができる。			
	【課題・対策】 臨床心理士の先生にご指導いただき、発達について学び自己研鑽に励むが書類作成の時間の確保が難しい。			

項目	番号	内容	評価	実施していること	
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている	
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧にしている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。	
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができるか	B	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。	
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 登降園時の関わりを意識してを行い、保護者との信頼関係を築く。 配膳時、給食スタッフと職員間での声かけと目視での確認。食札や別トレーの使用。代替食に名札を付け指定の場所に保管している。 食べる場所を決め、台布巾を別にしている。 臨床心理士の先生より指導を受け、専門的な意見を聞くことができる。				
	【課題・対策】 アレルギー児の詳しい対応方法(アレルギー検査結果の周知)を全職員が更に熟知することが必要。また、昼礼ノートやミーティングノートでのアレルギー児の除去・持参についての確認の周知を徹底する。 全職員でのマニュアルの確認研修を徹底していく。				
	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えができる。	
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 日々、保護者とのコミュニケーションを大切にし、意見箱を設置するなど、園への要望や不安な点をすぐに相談しやすい環境を整えている。また、年二回の運営委員会では全保護者の意見をとりまとめ話し合いの場を設けている。 施設長・副施設長も連絡帳の確認を行う。 日々、保護者の声に耳を傾けている。				
	【課題・対策】 子どもについての相談は日々担任にすることができるので、環境面でのご意見も相談しやすい環境を引き続き整えていく。				
	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができるか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。	
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。	
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。	
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描きリズム、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを保育に取り入れている。	
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。	
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 乳児クラスは少人数で対応するように心がけている。 適宜玩具を揃えて遊び込める環境をつくる。 子どもが主体的に遊べるように手の届く所に玩具を置くことで自由に取り出せるようにし、コーナー保育を充実させている。 幼児クラスでは様々な昆虫を育て観察を楽しんでいる。				
	【課題・対策】 クラスの垣根を越えて、もっと月齢・興味関心に合わせた異年齢保育のさらなる構築。おいも堀りを園内でのごっこ遊びでなく畑でおこなう。				
保育内容(あそび)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食にはこだわらず食べる喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。	
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー・郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使っている。	
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。	
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。	
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。	
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 食育を通して、食事に興味関心が持てるようにしている。 給食スタッフと連携し、スプーンや箸など年齢に合ったものを使う。また食器は陶磁器の使用。 必要に応じて給食の配膳は一人ずつトレーに載せ提供する。 給食スタッフによる食育マスター(幼児)の実施。				
	【課題・対策】 給食スタッフと担任による食育マスターを更に実施していく。 午睡から起きてしまった子どもの保育環境の工夫。				

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	児童健康台帳に、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	<p><b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b>            感染症発症時には、乳幼児の区分・病名・症状・潜伏期間・登園の目安等を掲示・配信し、声掛けも行っている。また、インフルエンザ・頭じらみなどは、罹患者の累積表の掲示もし、園での状況を分かりやすくお知らせしている。流行している感染症に関しての情報を職員に周知し、ファイルに保管いつでも見ることができるようしている。</p> <p><b>【課題・対策】</b>            予防接種の一覧表は年二回変更点がないか確認する。また、接種した際は随時コドモンでの連絡をお願いする。既往症やアレルギー等コドモンだけでなく毎日確認できるようにミーティングノートに挟む。</p>			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	B	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	<p><b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b>            清掃チェック表を保護者の方にも見ていただくことができるよう可視化してより意識を高めている。保育の中で大掃除を行い、子どもたちの衛生面への意識を高める。</p> <p><b>【課題・対策】</b>            マットの下の定期的な掃除と玩具消毒が更にしっかりできる仕組み作り。掃除チェックの徹底とチェック方法の簡素化の工夫。</p>			
	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通して、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
安全管理	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	<p><b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b>            各部屋の電話機横に緊急連絡先を掲示し、緊急時に迅速な対応ができるようしている。各部屋に不審者侵入防止対策を施している。門はオートロックになっており、ロック番号は毎年変更し、保護者にお知らせしている。</p> <p><b>【課題・対策】</b>            訓練の反省を踏まえた不審者対策。</p>			
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるよう工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
<p><b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b>            着替えの際や幼児のオープンタイプのトイレへの目隠しの設置。新入園児へは家庭での呼び名を確認し共通の呼び名で呼ぶ。命令語・否定語は使わない。言葉遣いの振り返りを適宜行う。人権擁護のためのチェックリストは毎年行う。</p> <p><b>【課題・対策】</b>            コーナー保育は充実してきたので、その日の子どもの様子を見ながらさらに落ち着いた環境となるようにまた、遊びこめるようにより環境の設定していく。言葉遣いの振り返りをおこなう。</p>				
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1~2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	<p><b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b>            登降園時は丁寧に対応し、子どもだけでなく保護者の少しの変化も見逃さないように留意する。</p> <p><b>【課題・対策】</b>            コドモンを利用し連絡事項を一斉配信する。カレンダー機能を充実させる。</p>			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	B	運動会開催時、近隣へ開催のお知らせを配布をしている。園見学では適宜育児相談にも応じている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 行事前や年末にはご挨拶と感謝の気持ちを伝えに近隣のお宅にご挨拶に伺い、顔の見えるお付き合いをする。また、日々の挨拶をしっかりと行う。		
		【課題・対策】 園庭開放と育児相談の周知。		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と情報交流をしている。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 近隣の小学校をお借りして運動会や発表会などを開催している。姉妹園とのZoomなどを利用し歌や映像での交流や手紙のやり取りをしている。		
		【課題・対策】 近隣小学校や保育園・姉妹園との交流の機会をより増やしていく。		
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 希望がなかった。		
		【課題・対策】 今後も感染状況を考慮し検討していく。		
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるよう説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 大田区巡回保育により、日々の保育の振り返りや改善策をご指導いただき、保育力の向上を目指す取り組みとなっている。		
		【課題・対策】 ZOOM研修への参加。引き続き研修参加にあたっての職員の十分な確保。		
職員の議事術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずから実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などをを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 自己評価を年2回行い、年度の中でも課題を見つける改善に向けて取り組み、再度自己評価を行うことで個々の意識を高め、園全体の改善・向上を目指している。 毎日晨礼を行っている。		
		【課題・対策】 引き続き晨礼はなるべく毎に交代で全クラスの担任の参加ができるようにシフトの調整をする。		
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 東京都福祉局の認証保育所講習会に参加し、適正な運営及びサービスの質の確保を図るようにする。		
		【課題・対策】 対面集合型での研修への参加。		
園目標や自己評価結果に対する反省・課題(事業報告書へ)		日々の保育の中で所作に留意し、目標達成に全員が努めた。クラス会議・乳児会議・幼児会議の時間の確保を意識したこと、晨礼ノートのデジタル化により、報連相はしっかりと行えた。今後は更にデジタル化を進めていく、重要な情報を確実に全員に周知し、認識のずれをなくしていく中で、情報共有のスピードアップ・業務効率の改善を目指していく。		